

平成 24 年
9 月定例会

45億円に増加！！

のしかかる 将来の財政負担

町では、クリーンセンター長寿命化工事や役場庁舎外壁工事に取り組んでおり、今後も第4保育所の改築や小中学校の大規模改修、東毛広域幹線道路へのアクセス道路の整備、高齢者人口の増加に伴う社会保障関連経費の増加など、多額の財源を必要とする事業を抱えています。これまで以上に厳しい財政運営が予想されますので、一層の健全な財政運営維持が求められます。

平成 23 年度
一般会計
決算の特徴

実質単年度収支

1億 3857 万円の黒字に！

歳出…0.4%減

議会費（地方議会議員年金制度の廃止に伴う負担金の増加）、総務費（財政調整基金の積み立て）、衛生費の増加、教育費の減少が顕著でした。また性質別では、道路補修などの維持補修費、人件費、補助費などの経常的経費が増加した一方、投資的経費は減少しました。

歳入…1.9%減

町税が 1.3%増加、高齢者人口の増加や臨時財政対策債の償還費の増加などにより地方交付税が 3.3%増加しましたが、国・県からの補助金が大幅に減少したことにより、総額で前年度より 1.9%減少しています。

特別会計・事業会計の決算額

すべて認定（賛成全員）

国民健康保険特別会計

歳入 36 億 332 万円

歳出 33 億 5650 万円

歳出の前年度比 7.4%増
町民1人当たりの支出 8 万 9717 円

後期高齢者医療特別会計

歳入 1 億 9009 万円

歳出 1 億 8907 万円

歳出の前年度比 1.4%減
町民1人当たりの支出 5054 円

介護保険特別会計

歳入 15 億 2967 万円

歳出 14 億 9088 万円

歳出の前年度比 4.7%増
町民1人当たりの支出 3 万 9850 円

介護予防サービス事業特別会計

歳入 1081 万円

歳出 1081 万円

歳出の前年度比 7.3%増
町民1人当たりの支出 289 円

下水道事業特別会計

歳入 11 億 4615 万円

歳出 11 億 2675 万円

歳出の前年度比 10.6%減
町民1人当たりの支出 3 万 117 円

水道事業会計

歳入 6 億 77 万円

歳出 7 億 3827 万円

歳出の前年度比 2.1%減
町民1人当たりの支出 1 万 9733 円

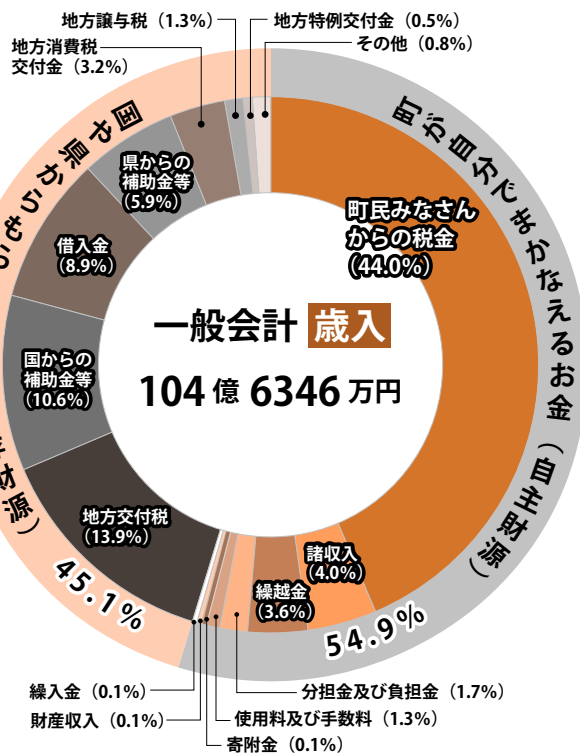
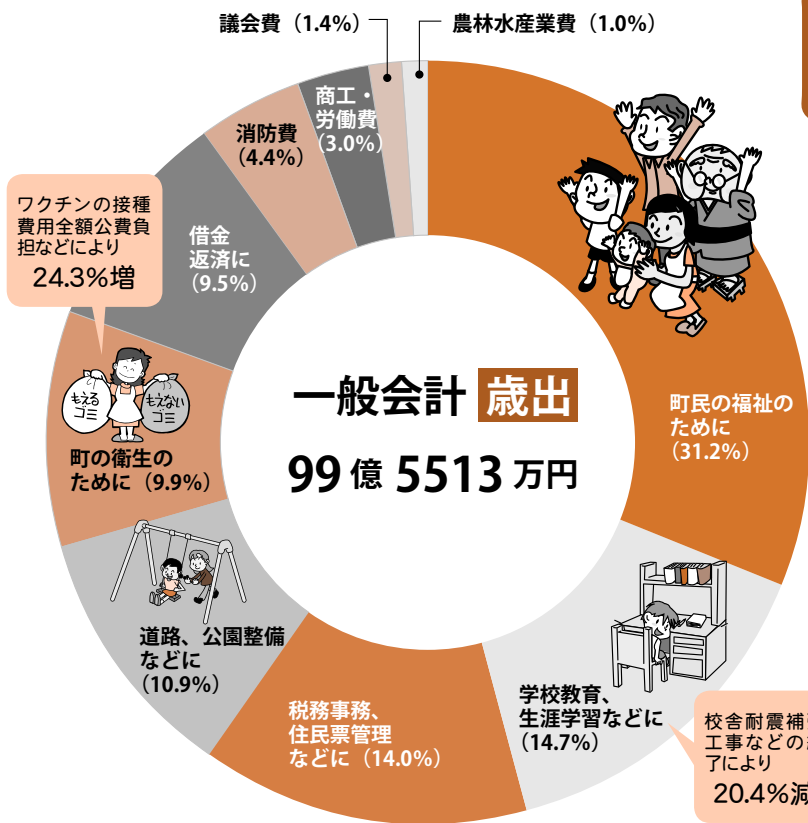
町民1人当たりの金額は、平成24年3月31日現在の総人口（3万7412人）から算出しました。金額は端数処理のため、合計で合わない場合があります。

第3回定例会は、9月4日から14日までの会期で開かれ、町長から平成23年度決算・平成24年度補正予算など、14議案が提案されました。平成23年度一般会計ほか6会計決算については、「決算特別委員会」で集中的に審査し、適正に執行されたと認定しました。また、ほかの議案についても、すべて原案のとおり可決しました。一般質問は9議員が行い、さまざまな角度から町の姿勢をたどりました。最終日には、追加提案された人事案件1議案に同意し、11日間の会期を閉じました。

町の預金は

黒字決算維持も 重く

町民の皆様、ことしも町の台所事情をお知らせする季節になりました。平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）の 1 年間で町が使ったお金の内容をごらんいただきたいと思います。おかげさまで、平成 23 年度決算も健全財政を維持することができました。



経常収支比率

87.8% (昨年度 84.7%) 3.1%悪化

*比率が高いほど臨時的な経費に使用できる一般財源が少なく、財政構造が弾力性を失っていることを示します。

積立金現在高

45 億 2786 万円 (前年度より 13.9%増)

地方債現在高

95 億 8656 万円 (前年度より 1.4%増)

将来の財政負担

50 億 5871 万円 (町民 1 人当たり 13 万 5000 円)

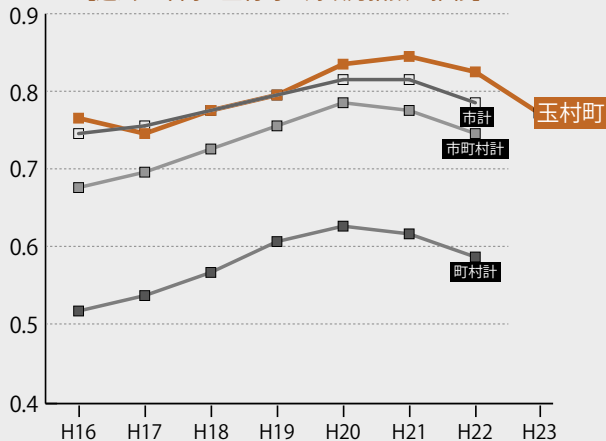
財政力指数

0.78 (昨年度 0.83) 0.05 わずかに悪化

しかし、玉村町は市並みの財政力

*財政力指数は自主財源の調達力を表すものです。
*財政力指数が 1.00 以上になると財政が豊かであるとして、国からの普通交付税が交付されなくなります。

【過去 8 年間の玉村町の財政力指数の推移】



健全化判断比率	21 年度	22 年度	23 年度	早期健全化基準
実質赤字比率 自治体の一般会計の赤字程度	黒字	黒字	黒字	14.11%
連結実質赤字比率 公営企業も含めた赤字の程度	黒字	黒字	黒字	19.11%
実質公債費比率 実質的な借金の返済額の割合	7.0%	6.4%	5.9%	25.00%
将来負担比率 将来支払うことになる負担	黒字	黒字	黒字	350.00%

早期健全化を下回っており、健全であると判断できます